



2018-2019年度 主題

国際会長 : Sangbong Moon "Yes, We Can Change"
 「私たちは変えられる」
 アジア太平洋地域会長 : "Courage to Challenges"
 田中 博之 「挑戦への勇氣」
 東日本区理事 : 宮内 友弥 「為せば、成る」
 湘南・沖縄部長 : 佐藤 節子 "No challenge, No fruit."
 「心を元気に 絆を深め合える
 ワイズを目指そう！」
 クラブ会長 : 岡田 勝美 「楽しく活動し、仲間を増やしていこう！」



今月の聖句

「いちばん上になりたい者は、皆の僕になりなさい。人の子が、仕えられるためではなく仕えるために、また、多くの人の身代金として自分の命を献げるために来たのと同じように。」

(マタイ20 : 27-28、横浜YMCA・2019年度基本聖句)

2019年4月本例会

日時:4月26日(金) 18:30~

場所: かけはし都筑

司会: 鈴木K 受付 鈴木S

~プログラム~

- 1)開会点鐘 会長
 - 2)ワズ リツグ・ワズ の信条唱和
 - 3)今月の聖句・祈禱 相賀牧師
 - 4)ゲスト・ビジター紹介
 - 5)会長挨拶
 - 6)卓話 「気功」について
日下部美幸ワズ(厚木C)
 - 7)YMCA報告
 - 8)Happy Birthday
岡田K、鈴木K、福島
 - 8)スマイル
 - 9)その他(もしあれば)
- ※懇親会食会
@ガブリエル

《巻頭メッセージ》

岡崎 さよ子

桜の事



毎年欠かさず楽しみに観るのは、東横線の中目黒駅の側を流れる目黒川沿いに咲く桜です。川幅が狭く、川底が見える程の川ですが、小さな橋がいくつも架かる橋上から眺める桜の美しさは見事で、思わず歓声が上がります。両岸の枝が川にしな垂れかかりやがて、咲満ちた花が川をピンク色に埋め尽くします。花片は寄り添うように花筏となって下って行きます。

その桜と一緒に見続けた夫は、「来年の桜は観られるかな,,,」と花の空を見上げていましたが、想いは叶う事はありませんでした。

其の頃始めた俳句に、桜も夫の事もたくさん詠みました。

最近、テレビ番組の"プレパト"で皆さまは名句をご覧になり、俳句の知識をお持ちのことと思いますので駄句を披露させて頂きますのは大変お恥ずかしい限りですが、春の句を少し書かせていただきました。

新元号フイーバーとなる桜時
 行春や売り切れとなる万葉集
 花筏生まれしままに流れ行く
 花の雨簡易テントの宴続く
 誘はれて花人となる宣教師
 花の冷え一つ残りしペアカップ
 戻らざる夫との日々や梅一輪
 夫と観し一本桜に来て一人
 桜咲く関八州を巡りけり



(3月のデータ)

| | | | | | | |
|------|-----|--------|-----|--------|--------|---------|
| 例会出席 | 21名 | 在籍会員数 | 17名 | 各種記録 | 前月 | 累計 |
| メンバー | 13名 | 月刊出席数 | 13名 | 使用済み切手 | 0 | 0 |
| ビジター | 1名 | メーキャップ | 2名 | スマイル | 6,500円 | 95,146円 |
| ゲスト | 7名 | 月刊出席率 | 88% | | | |



《報告》

3月度本例会

横田 孝久

日時：2019年3月22日(金) 18:30~20:00

場所：かけはし都筑

出席者：相賀、今城T/H、岡崎、岡田M/K、久保、
胡麻尻、鈴木K/S、辻Tsu、福島、横田
(13名)

(ビジター) 佐藤節子

(ゲスト) 赤間廣、加藤孝久・道子

佐渡友順子・秀夫、斎藤勲

高松満至 (7名/敬称略)

司会：岡崎さよ子

《プログラム》

- 1) 岡田会長の開会点鐘の後、ワイズソング・ワイズの信条を 全員で唱和。
- 2) 相賀牧師による今月の聖句と祈祷
(コリントⅡ6.2)
- 3) ゲストスピーカー他を鈴木ワイズが紹介した後、会長が挨拶を行い卓話者の加藤先生ならびにゲスト、ビジターへの歓迎の意を表した。また、クラブの会長を除く次期役員を、次回事務例会を臨時総会として選任する旨の案内があった。
- 4) 卓話：加藤孝久氏 (工学博士・元東大教授)
演題：「表面・接触・摩擦」

(略歴)

1976年東京大学工学部機械工学科卒業、工学博士。
1983年同大学工学部助教授その後工業技術院主任
研究員や産業技術総合研究所統括研究員を経て
2005年東京大学教授。専門はトライポロジー

まず、「摩擦の世界はナノメートルの話。すなわち10億分の1メートルです」と始まり我々の度肝を抜く。クラブの卓話としては相当レベルが学術的な内容であったが、身近な例を挙げての分かり易い話しであった。印象に残ったトピックは次のようなもの。

- 1束の爪楊枝を風船に押し当てても力が分散して風船は割れないが1本の楊枝だと割れる。
- どんな表面でも粗さがありその程度は物によって異なる。
- 同じ球体でも地球の高低差をエベレストと深海との差で考えると、2万mです。では表面がつるつるの小さな軸受け鉄球の表面の凹凸は地球の大きさに拡大しても5m程度。
- 粗さを埋める方法として、「削る」か「埋める」がある。
- ボブスレーが滑るのは、ブレードの圧による熱で氷が解け、ブレードと氷面の間に水の膜ができるから。
- ベアリングの研磨技術は日本が得意とする分野。転がりベアリングは自動車に多く使われ (全体の

50%) ほかスマホの振動にも使われている。軸受用鉄球の生産量は年間約1千億個 (パチンコ玉が30億個)

- 摩擦を解決することは人類の大きな問題で、古代エジプトの時代でもピラミッドを建設する際、丸太・油などを使う工夫がされました。摩擦は人類の



テーマでもあり今後の更なる研究が期待される。難しい話でもありましたが、われわれの身近なものにも科学的な原理があることが解り、このような卓話を聞くこともできるワイズの集まりは素晴らしいといえよう。最後に、日本中の「自動販売機」の使用電力は原発1基に匹敵するとのことで便利さが故に大きなリスクを抱えることへの警鐘と受け取った。

5) 北YMCA報告

山中館長が海外出張で欠席のため、岡田Mが行った運営委員会の報告によると、久保ワイズの鶴見YMCA転籍に伴い、鈴木Sワイズが運営委員長を引き継ぐことになった。

6) 今月のHappy Birthdayは相賀ワイズ、辻Taの二人で記念品を送り拍手で祝った。

7) 会長による閉会点鐘で例会を終了し、メンバー、ビジター、ゲスト合わせ20名が恒例の“ガブリエル”での会食懇親会に参加し、楽しい交わり時を過ごすことができた。

(了)



「東京町田スマイリングクラブ」チャーターナイト参加報告

鈴木 茂

日程 : 2019年2月24日 (日) 15:00~17:00

会場 : 玉川学園さくらんぼホール

チャーターメンバー : 11名

参加者 : 94名 (つぎクラブから久保勝昭、鈴木 茂)

東京町田スマイリングクラブのチャーターナイトが去る2月24日(日)、玉川学園さくらんぼホールで開催され、久保勝昭さんと共に参加してきました。3月17日に設立総会が開催される「横浜つるみクラブ」のチャーターメンバーとなる予定の中村純子さんも参加していました。

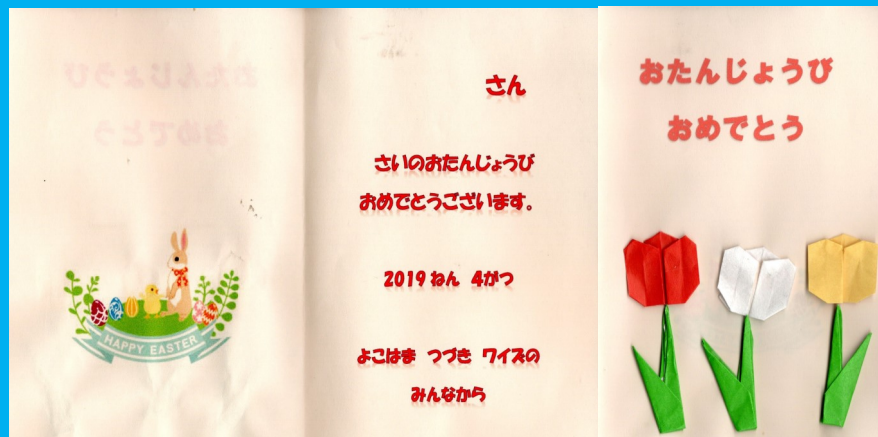


ワイズ国際憲法の改定により、新クラブ設立の最小人数が15名から5名に変更になりましたが、「東京町田スマイリング」は東日本区として改定後最初の新クラブ誕生であります。この地域には、もともと「東京まちだクラブ」と「東京コスモスクラブ」がありましたが、会員減少等により昨年両クラブは合併し、「東京町田コスモスクラブ」として再発足しています。同時に、この地域では、新会員・新クラブによる奉仕活動を通して、「Smile (笑顔)」「Ring (輪)」を増

やし、ワイズの繋がりを広げようという新クラブ設立構想が東新部を中心に企画され、今回の新クラブ誕生となりました。栗本治郎・直前理事が提唱された「各部エクステンション委員会設置」対策の第1号の成果となりました。

国際協会加盟認証状伝達式では、松香光夫・設立準備委員長(東京町田コスモス)による設立経過報告に続いて、山田敏明・次期東日本区理事による式辞、田中博之・アジア太平洋地域会長による加盟認証状伝達と祝辞があり、太田勝人・東京町田スマイリングクラブ初代会長による決意表明とクラブメンバー紹介が行なわれました。続いて、井上宮子・町田市玉川学園地区社会福祉協議会代表、神崎清一・日本YMCA同盟総主事、星野太郎・東京YMCA副総主事、神保伊和雄・東新部部長による祝辞披露が行なわれました。

チャーターメンバー11名はお若い方々が多く(大学3年の女性会員もいます)、しかもソプラノ、バリトンのプロ級のタレントもおられ、式典後の祝会では素晴らしいソロやデュエットで私どもを楽しませて下さいました。誠にうらやましいチャーターメンバーです。新クラブが地域に根差し、地域で愛されるクラブとして成長発展されることを心から祈りたいと思います。



《TKBお仕事会》

TKBの3月のお仕事会は、宮城県、福島県の東日本大震災被災地のお年寄りや幼稚園、保育所の子どもたちに送る誕生カードの作成、仙台でのアジア太平洋地区大会(7月19-21日)を飾る千羽鶴作りを行いました。

カード作りのお世話をさせて頂いた休会中の林理子ワイズは少しずつお元気になっておられます。

《特別報告》 去る2月1日に開催された4部合同RMCシンポジウムに、湘南・沖縄部からは当クラブの辻ワイズが出席され、その際の報告書が寄せられましたのでここに掲載します。

<4部合同EMCシンポジウム報告> 辻 剛

日時：2019. 2.1 (土) 13:30~16:30

場所：東京YMCA社会「体育・保育専門学校2F演習室

※4部会：東新部・関東東部・あずさ部・湘南・沖縄部

●このシンポジウムの日程が佐藤節子湘南・沖縄部長の沖縄部長公式訪問と重なったため、エクステンション委員長を仰せつかっている私が代理で出席しました。このシンポは数年前から開催されており、私も一度出席したことがあります。湘南・沖縄部が共催に加わったのは昨年からです。

●シンポの全体的な構成は以下の通りです：「ワイズメンズ会員の現況」（伊藤幾夫・東新部直前部長）、「YMCAとワイズの協調について」（星野太郎・東京YMCA副総主事）

●発題：「新しい発想で新クラブ設立」（大田勝人・町田スマイリングクラブ会長）、「いきおいクラブの成功例」（広瀬 健）、「老舗クラブの苦悩」（古田和彦・横浜クラブ会長）、「クラブの再生・再活性化」（徳永浩一・千葉クラブ会長）

●これらの発題に対して参加者によるディスカッションが行われました。皆さんそれぞれ大変参考になるコメントをされていましたが、新クラブ設立には新しい変化に対応しながらと取り組むこと、新会員獲得にはSNSやFBを駆使することがとくに若い人を対象に考える場合多変重要である、というような論調が目立ちました。

●続いて、「各部長の一言」というプログラムがありました。私は概ねつづきクラブのプリテン（去年の11月号）に寄稿した「5人クラブをリスペクトしよう」という記事と同じよう内容を話しました。即ち、これからは、クラブを設立するときの人数にこだわらなく、5人以上15人未満のクラブを沢山作ることにこだわらべきである。要は、「小さく産んで、大きく育てよう。大きく産んでも小さくなってしまわない

は意味がない」というような主旨の話しをしました。

●その場の皆さんは大変熱心に議論に加わり、全部の皆さんが、かなりの危機感を共有されているように感じました。最後に今回採択された「決意表明」をご紹介します、報告を終わります。

<決意表明>

「私たちは、ワイズメンズクラブ国際協会の国際憲法および東日本区の定款に示された目的・モットーに賛同し、誇りと喜びをもって、ワイズメンズクラブの会員となり、活動を行っています。そして、この活動がこれからも継続、発展していくことを願っています。

しかし、近年、残念なことに、会員の高齢化、減少の傾向が強まっており、活動の停滞も見られます。

私たちは、このような状況に危機感を抱き、自らが何をなすべきかを考え、どのような行動していくかを真剣に考えなければならない時期に直面していることを認識します。そして、私たちは、一人ひとりが志を持ち、思いを巡らし、知恵と力を出し合い、ときには大胆に、勇気を持って、変革していくことを決意表明いたします。

2019年2月16日、東新部・関東東部・あずさ部・湘南・沖縄部およびEMCの参考になる意見をシンポジウム参加者一同
以上（辻 剛 記）



《クラブ人事》 去る4月9日のクラブ臨時総会にて決定した次年度のクラブ役員は次の通り；

- 会長 今城高之
- 副会長 鈴木 茂（次期会長予定）
- 書記 辻 剛
- 会計 今城宏子
- 直線会長 岡田勝美
- 監事 横田孝久

《4月本例会の卓話》 4月の本例会（4月26日）では、厚木クラブの日下部美幸ワイズをお招きし卓話をして頂きます。ご本人から以下のメッセージが寄せられました。『世界の気功をを牽引する若き指導者張明亮老師の元で中医学を学び修行中です。分かり難い気の練習がなぜ必要なかをお話しできたらと思います』

《例会報告》

4月度事務例会報告

日時： 4月9日（火）18：00～20：00

会場： 田園都筑教会

出席者： 今城 T・H、岡崎、岡田 K・M、胡麻尻、
鈴木 K・S、辻 Tsu、福島 （10名）

《次第》

1) 開会点鐘、会長挨拶に引き続き、臨時クラブ総会を開催し、次期クラブ役員を選任を行った。

・定数確認：会員17名、出席10名、委任5名で総会定数を満足しており総会成立。

・議題：次期クラブ役員選出の件（今城副会長案）

会長： 今城高之

副会長： 鈴木 茂 （次々期会長含み）

書記： 辻 剛

会計： 今城宏子

監事： 横田孝久

以上の提案を全会一致で承認。

2) 報告

・次々期部長（2020.7～2021.6）選出の件（岡田会長報告）

4/8（月）に第3回目の選考委員会が開かれ、次期部長選任方法等について様々な議論が行われたが結論に至らず。委員会として、横浜クラブより次々期部長を推薦してほしい旨の意見が多く、横浜クラブが持ち帰り検討することを約束。今週中に返事をするとのこと。

3) 協議連絡事項

◇相賀昇ワイズ（現功労会員）より一般会員への転入申し出があり、全会一致で了承した。

◇長年、病気のため例会出席が叶わない辻 孝子ワイズの一般会員より功労会員への移行の提案があり、ご当人の意向を確認の上、ご了承いただければ新年度より実施することとなった。

◇横浜つるみクラブ新設に伴う久保勝昭ワイズの当クラブ退会（横浜つるみクラブへ転出）の件を了承。会長が区事務所への届け出を行う。

◇恒例の富士山例会を5/24（金）～25日（土）で行う。13:30に現地 富士山 Y M C A グローバル・エコ・ヴィレッジ集合、翌 5/25（土）に散会の予定。

◇今後、スケジュール等の詰めを行い、合流を希望している横浜クラブ、横浜つるみクラブ等へ連絡する。詳細は5月事務例会で話し合う。

◇富士山例会のテーマを「楽しいクラブライフ」（案）

とし、歴史ある横浜クラブと新しい横浜つるみクラブの参加を交えて意見交換することを検討する。有意義な内容とすることで合意。

◇地域奉仕・Y M C A サービス写真コンテスト（締切～4/15）の件（大久保主任より）につき、個人の所有の活動関係写真で参加する方向で合意。

◇第22回東日本区大会（6/1～6/2 @代々木オリンピックセンター）

中間報告 3/25現在 138名

4) 今後の予定

4/20（土）14:00～ 部評議会（中央 Y M C A）

4/24（金）14:00～ T K B 夢カフェにて

4/26（金）本例会（卓話：日下部美幸ワイズ 厚木クラブ、演題「気功」について

5/14（火）事務例会

5/24（金）～5/25（土）富士山例会

5/25（土）17:00～横浜 Y M C A 会員総会（@湘南とつか Y M C A）

6/1～6/2 @代々木

第22回東日本区大会

出席予定者：相賀牧師、岡田 K・M、鈴木 S、辻 T s u

7/19～7/21 第28回アジア太平洋地域大会 @仙台 出席予定者：鈴木 S、辻 T s u

5) 各担当より P R と予定

◇夢カフェ利用の件（鈴木 K）：今後 T K B 活動の拠点とすることを想定。使用料：千円/半日。ロッカー使用料（500円/月）夢カフェのオーナーは「協議会」で、みんなの家とは別に賛助会員（団体5千円/年）の加入が必要との説明があった。

◇千羽鶴の件（岡田 M）：アジア大会を彩る千羽鶴作りを実施。横浜つるみクラブからも届けられた。合わせて4/26（金）本例会以降に送付予定。

◇社協担当より（岡崎）当クラブも協力した都筑区の赤い羽根共同募金額が859万円に達した由。

◇社協「ふれおい助成金」4月、「善意銀行」6月の申請をする。（今城 T、鈴木 S）

※閉会点鐘後「一心」にて懇親会。

岡田美和 記

《北Y便り》

北YMCA館長 山中 奈子(つづきクラブ)



今年は桜の見ごろも長く、今日も桜吹雪の中、自転車を走らせてきました。4月から新しいメンバー・スタッフを迎え、YMCAにも春がやってきました。今年度は新しいスタッフも増え、目まぐるしい4月に一同あたふたしています。長く横浜北YMCAに尽力をしてくださった藤澤幸隆さんが藤沢YMCAに異動になりました。YMCAまつりや行事等で皆様にお会いすることも多くあると思います。是非声をかけてください。

《5月行事予定》

- 5月18日 横浜北YMCA運営委員会
- 5月26日 横浜YMCA会員総会

| | |
|--------------------|------|
| 藤沢YMCAへ異動 | 藤澤幸隆 |
| 中央YMCAより(健康教育部統括) | 関口 努 |
| 厚木YMCAより(健康教育部) | 田中誠也 |
| 藤沢YMCAより(健康教育部) | 田代智世 |
| 新採用(健康教育部) | 飯野詩音 |
| 湘南とつかYMCAより(生涯学習部) | 田川資子 |



《特別企画》

誌上座談会「横浜つるみクラブ設立までの歩み」

去る3月17日、湘南・沖縄部をスポンサーとする新クラブ「つるみワイズメンズクラブ」の設立総会が行われました。新クラブは6月16日に開催予定のチャーターナイトで正式発足しますが、本誌では、これまで新クラブ設立に奔走された当クラブのお二人にこれまでの経緯やご苦労されたことなどをお話しいただき記録に残すこととしました。今後の新クラブ設立の際などで参考になれば幸いです。

(出席)

- ・湘南・沖縄部エクステンション委員長 辻 剛ワイズ
- ・新クラブ設立委員長(新クラブ会長) 久保勝昭ワイズ
- ・司会:つづきクラブプリテン編集担当 今城高之

(司会) 辻委員長にお伺いしますが、部のエクステンション委員会立ち上げから新クラブ設立までの歩みを時系列的にご説明ください。(以下敬称略)



(辻) 2017年9月、当時の栗本理事の方針に基づき、湘南・沖縄部金子部長がエクステンション委員会を設置されました。佐藤節子次期部長が委員長となり、金子功部長、部担当主事および各クラブのEMC

担当者等10名が参加してスタートしました。翌2018年度は佐藤節子さんの部長就任に伴い、私が委員長を仰せつかり、若干名補強して13人体制で再スタートし今日に至っています。1年目は、「横浜YMCAの拠点に新クラブを作る」ことを「基本方針」とし、横浜YMCAとの協働体制確立、

委員会規則の作成を行い、手始めに藤沢YMCA、YMCA ACTの運営委員会訪問などを行いました。

初年度の活動を受け、2年目は、第一に藤沢YMCA、YMCA ACTに対して様々なチャンネルを通してのアプローチに取り組むこと、第2に、鶴見・生麦地域の横浜YMCAの拠点のサポートを目的とする新クラブ設立の模索、第3に、横浜YMCAの傘下で保護者会のある保育園を拠点とする新クラブの設立の可能性の追求を行う、以上3点に絞って取り組みました。

(司会) 幾つかの可能性を絞り込まれた結果、今回の「鶴見地区」に新クラブ設立となったということですが、その間の経緯をご説明ください。

(辻) 藤沢YMCAは今年の40周年記念行事に注力しておられます。また、ACTとは継続して地道な交流を続けており、次の有力な候補と考えています。そんな中、久保さんが長年主宰している生麦地域ケブラザ(横浜YMCAの指定管理)の「歌声広場」でアピールしたところ、参加者の中から5名の方が興味を示してくださったのです。この後のことは久保さんがお話ししてくれると思います。



(久保) 私自身「生麦地域ケブラザ」(2012年開設/横浜YMCAの指定管理)における「うたごえ広場」には立ち上げ当初から参加しており、参加者の中にケブラザのボランティアとして働いてくれている

人が数名いる事、また、つるみ中央ケアプラザ（2007年開設/横浜YMCA指定管理）でボランティア活動に関わっている人がいる事など、ワイズ活動が理解される素地があったのがクラブ立ち上げの大きな理由であったと思います。

（司会）候補先検討の過程でいくつかの可能性を断念せざるを得なくなった理由にはどのようなことがあげられますか？

（辻）アプローチ先でまだ断念した事案はありません。藤沢も周年行事が無事終了して落ち着かれたら再アプローチさせていただこうと考えていますし、ACTは、今後の私たちの努力次第ですが、十分有望な候補だと考えています。部内のクラブ例会などにお誘いしてワイズ理解を深めていただこうと考えています。何れも次年度以降取り組む大切な課題だと思っています。

（司会）いくつかの候補の内、鶴見が最終的に実現に至った訳ですが、そうなった主な理由、決め手は何だったのでしょうか？

（辻）第1に、何といっても久保さんという熱意も人脈もあるキーパーソンに恵まれた事です。久保さんなくして横浜つるみクラブは生まれなかったでしょう。第2は、横浜YMCAの全面的なご理解とご協力がいただけた事です。主事の方々が準備委員会、準備例会へご出席下さり、様々な情報、貴重なアドバイスをくださいました。また、設立総会等へも多数の主事、スタッフが参加してくれるなど、手厚いご協力は枚挙にいとまがありません。第3は、湘南・沖縄部および各クラブがスポンサーシップを取ってくださった事です。新クラブ設立に部がスポンサーになったのは世界でも初めての画期的なことだと思います。“少人数クラブ時代”を迎えて各クラブの負担を少しでも軽くするための示唆的な実験だと思っています。第4は、新メンバーの皆さんはお互いに初対面の方がごく少なく、全員が鶴見・生麦地区在住の方で、最初からままとりの良い典型的な地元密着型のクラブであったということです。

（司会）今回参加予定のチャーターメンバーの顔触れをご覧になり、久保さんは、つるみクラブがどんなクラブになると考えておられますか？ また、つるみクラブの特色を一言で言うとしたらどのようなことでしょうか？

（久保）音楽を通しての繋がりがきっかけとなった仲間なので、「うたごえ広場」を支え、一緒に歌う事、メンバーが出演するコンサート等を応援し支える事、自分たちで運営するチャリティーコンサートを立ち上げることが想定されます。また、これらの活動を通して、より良い繋がりを実現するとともに、クラブライフを豊にする為に知恵を出し合い、楽しめるクラブにしたいと考えていますし、実現の可能性は極めて高いと確信しています。

（司会）辻さんは新年度もエクステンション委員会委員長を務められますが、どのあたりに新たな可能性を感じておられるのでしょうか？ 部には、現在8クラブがありますが、新年度は各クラブにどの様な呼びかけをされるおつもりですか？

（辻）新年度は、区、部およびクラブにとって、会員増強問題は大変重要な年になると考えています。東日本区の「会員増強推進委員会」が7月1日から会員増強プロジェクト“X”を策定し、正式運動を開始します。これは国際協会の動きとも呼応することになるでしょう。ワイズ100年にあたる2022年の区の目標として会員を1,246名にすることを基本方針とします。これに伴い各部、クラブはそれぞれの達成目標を定めます。湘南・沖縄部も各クラブも目標を作成します。従って、私たちエクステンション委員会もこれらの目標をベースにして今後の計画を立案し、取り組む必要があります。私は、今年2月に行われた沖縄2クラブへの佐藤節子部長公式訪問時に森田幸二郎・次期湘南・沖縄部長宛にエクステンション委員会としての「お願い書簡」を託しました。森田部長就任の記念事業として是非沖縄に第3の新クラブを設立していただきたいとお願いしました。2022年の達成目標は部全体として取り組む事業ですから沖縄の皆さまにも是非ご協力していただきたいと願っています。

（司会）今回のつるみクラブ設立に向けた活動を踏まえて、今後エクステンション活動に取り組もうとしているクラブに、お二人から何かアドバイスがあればお教えてください。

（辻）もし、そのようなクラブが部内にあるならば、エクステンション委員会と一緒にやりましょう。全面的にご協力します。そして、とにかく「小さく産んで、大きく育てる。」これがこれからのクラブ作りの基本です。これに徹していただきたいと思います。

（久保）新クラブメンバーは、担当主事を入れ9名となる予定ですが、その反面、これまでアプローチした中で4名の方にクラブ設立を理解していただけませんでした。自分の努力の足りなさを痛感している一方で、ワイズのY M C Aに対する貢献度やY M C Aが実施しているチャリティープログラム、Y M C Aの事業内容等へのP Rが欠けていたように思っています。

（司会）本日は貴重なお時間を割いていただき、誠にありがとうございました。（了）

注：本座談会は、編集担当より出席者お二人に書面で質問させていただき、書面でいただいた回答を編集担当がまとめたものです。

《第84回Y-Y's協議会報告》

去る3月5日(木)、84回目となる横浜YMCAと湘南・沖縄部の「Y-Y's協議会」が横浜中央YMCAで開催されました。ワイズメンズクラブと地域YMCAとの協議体が、これほど長期間にわたり定期的に開催されているケースは他に類を見ないのではないかと思います。年4回開催するとしてなんと21年間の長きにわたり継続開催されてきたこととなります。毎回の協議会は、ワイズ、YMCA双方がそれぞれの活動報告や取り組み状況説明したり、また今後の活動方針等について双方が述べるといった内容で、特段緊迫したものではありませんが、相互理解の促進には極めて有効なツールとなっています。

今回の協議内容は概ね以下の通りです;

- ◇ 今回のワイズ側担当は横浜クラブで、担当主事による聖書朗読、祈祷で開会。
- ◇ 議長が横浜クラブの古田会長が務め、以下のテーマが取り上げられた。

- ①チャリティーラン並びにBAPY基金の報告
- ②田口横浜YMCA総主事による横浜YMCA全体の次年度活動方針・事業計画に関する説明
- ③YMCA会員大会報告
- ④ピンクシャツデーの諸行事実報告

- ◇ ワイズからは、佐藤部長によるY-Y's合同新年会の報告、部長の沖縄公式訪問の報告がありました。
- ◇ 部エクステンション委員会からは、部全体がスポンサーとなっている新クラブ、横浜つるみクラブ(仮称)が地域のYMCA施設の協力を得て急ピッチで進んでいるとの報告があり、YMCAへの謝辞が述べられました。
- ◇ 次回のY-Y's協議会は鎌倉クラブの担当で6月4日に開催されることを確認した。
- ◇ つづきクラブからの出席者は、今城T・H、岡田K・M、鈴木S、辻Tsu、山中の7名が出席。

(今城T 記)

《トピックス》 つづきクラブの次年度の役員体制については本誌4頁に臨時総会の決定事項として記載しましたが、同じ総会の席で次の二点が提案され承認されました。

- ① 功労会員扱いとなっていた相賀昇ワイズより、一般会員への復帰を希望する旨の意思表示があり、全員喜んで受け入れることとしました。
- ② 長年、体調を崩しておられ、例会への出席が困難な辻孝子ワイズを功労会員扱いとしてはとの提案があり、ご本人の意向を確認したうえで、ご異存なければそのようにすることとなりました。

▽クラブプリテンは、本来4頁建てが好ましいと考えているが、これまで4頁で収まったためがない。毎回情報量を変えずに、既定の頁にきちっと割り付けるのが編集力と考えるに、当方の場合能力の欠如が否めない。▽今回は更に頁が増え、8頁建てになってしまった。週刊誌が電話帳ようになってしまったに等しい、と反省しきり。▽言い訳になるが、新クラブ立ち上げについて、我々が辻さん、久保さん他部の委員会メンバーの奮闘ぶりを、本誌面に刻んでおきたいと思ったのが増頁の主な理由ではある。▽クラブの皆が大好きな久保さんが新クラブの会長として転出する。折角仲良くなったのと思う人は多いが、つるみクラブは近くのクラブでもあるし、これからはしょうちゅう交流をしてお互いに高め合うこともできよう。早速、我らの恒例行事富士山例会につるみクラブの何人かが参加するという話もあり楽しみである。

(編集子)

~~~~~編集後記~~~~~

《ご案内》 本誌本文にも記載いたしました通り、かねてより設立準備が進められ、去る3月17日に設立総会が開かれた「横浜つるみクラブ」(仮称)が、来る6月16日(日)、いよいよチャーターナイトを迎えることになりました。新クラブは、我がクラブの辻ワイズが委員長を務める湘南・沖縄部エクステンション委員会が中心となって、部を挙げて推進してきたものであり、同じく我がクラブの久保ワイズが長年主宰してきた「うたごえ広場」のメンバーが中心に構成されるもので、久保ワイズが初代の会長を務めることになっています。我々も、是非チャーターナイトに出席し、辻、久保両ワイズの労をねぎらうとともに、新たに仲間に加わる新クラブのメンバーを祝福し、大いに歓迎しようではありませんか。チャーターナイトの詳細は次の通りです。

- i. 日時 6月16日(日)16:00~18:30
- ii. 場所 横浜市鶴見中央地域ケアプラザ  
JR鶴見駅、京急鶴見駅下車徒歩5分
- iii. 会費 2000円

